

6. 音楽科

第一学年

単 元	学 習 目 標	指導上の留意点	ESD との関連
校歌	校歌を覚え大きな声で歌う	はつらつと校歌を暗譜して歌えるようにする	
声作りと発声	正しい発声法を学び明るくのびやかな声を出せるようになる	発達段階と音域に注意しながら発声の仕方を指導する	将来へと継続した発声指導を行う
日本の歌	よく知られている日本歌曲を歌う	曲に適した歌い方が出来るように、歌詞や発声に気をつけさせる	
バロックの音楽	バロック時代の合奏協奏曲を鑑賞する	時代背景や楽器のことも理解させて鑑賞させる	
ドイツリート	シューベルトの歌曲を鑑賞する	シューベルトの代表的な歌曲を中心に幅広く鑑賞させる	
混声三部合唱	各パートの旋律の違いを理解しながらハーモニーの美しさを体験する	生徒たちの「実態に合わせたパート練習を行う	
合唱指揮	指揮法の基本を学ぶ	基本拍子の振り方を習得させる 指揮の表現について学ばせる	
自然音を考える	サウンドスケープを行い自然音の大切さを考える	フィールドワークを行い音楽の原点としての自然音について考えさせる	自然音とESDについて考える
日本の伝統音楽	和太鼓、箏など日本の伝統音楽を体験させる	西洋音楽とのあらゆる違いを認識させながら行う	
日本の民謡	郷土の民謡を知る	奈良県を中心に民謡や伝承されている「わらべうた」等も幅広く紹介する	
卒業式の音楽	三部合唱等を行う	心のこもった音楽を作らせる	

第二学年

単 元	学 習 目 標	指導上の留意点	ESD との関連
バッハの音楽	多声的な音楽の成り立ちについて知り フーガ等にも興味を持つ	ポリフォニーの音楽の構造を理解させる バッハの音楽に興味を持たせる	
音楽の仕組み	旋律と和音について知	和声的音楽について理	

	る 楽曲の構造を知る	解を深めさせ、楽曲の骨組みについても理解させる	
音楽の諸要素	音楽を構成する様々な要素について学ぶ	音楽の三要素を中心に創作にも応用できる知識についても学習させる	
沖縄の音楽	沖縄の音階を使った歌を歌う	出来るだけ多種多様な音楽を紹介し歌えるようにさせる	
日本の歌	正しい日本語の発音で日本歌曲を歌う	歌詞を理解させ、発声、発音に気をつけて自分なりの日本歌曲を表現させる	
東アジアの音楽	朝鮮半島の音楽文化を知り興味を持つ	朝鮮半島の伝統的な音楽を中心に現代にいたるまで幅広い教材を取扱う	時代を越えた日本音楽やアジアの音楽とのかわり
単元	学習目標	指導上の留意点	E S Dとの関連
創作	即興的な創作の試み	単純な旋律をもとにし、声を使い曲をアレンジすることを試みさせる	
日本の伝統音楽	尺八音楽を知る	日本の伝統楽器について楽譜も比べながら行う	
オペラ	アイーダ 2 幕二場の鑑賞	興味をもてるように幅広くオペラについて紹介する	
卒業式の音楽	三部合唱等を行う	心のこもったハーモニーを目指す	

第三学年

単元	学習目標	指導上の留意点	E S Dとの関連
同声二部合唱	「花」の二部合唱をとって滝廉太郎の音楽に親しむ	歌詞の内容や曲に適した歌い方を考えさせる 滝廉太郎の音楽を幅広く紹介する	
カンツォーネ	イタリアの歌に親しむ 言語で歌ってみる	ナポリ民謡や現在のカンツォーネに興味を持たせ、独特な歌い方について考えさせる	
音楽の歴史	西洋音楽を中心に、お	多くの楽曲を紹介す	日本音楽と関連させ

	おまかな音楽史を学ぶ	る 日本の音楽史にも触れながら進める	ながら音楽のつながりを考えさせる
混声四部合唱	混声四部合唱に取り組み重厚な響きを経験する	男声を二つに分ける音楽的な意義についても理解させる	
第九交響曲	4楽章を鑑賞し、歓びの歌を歌唱する	原語で歓びの歌を歌わせるために、歌詞について丁寧に指導する	
卒業式の合唱	三部または四部合唱に取り組む	生徒の希望曲を心をこめて歌えるようにする	